

国際サーカス村通信	VOL14NO03	2009年12月4日(金)
		文責 西田 敬一
編集 NPO 法人国際サーカス村協会	〒376-0303 群馬県みどり市東町座間 41-1	
Tel0277-70-5010 Fax0277-97-3688 mura@circus-mura.net http://www.circus-mura.net		

総会報告

平成 20 年度の総会を下記の日程で開催しましたので、ここに、総会で了解を得た 20 年度事業報告、21 年度事業計画などを掲載いたします。なお、20 年度では、役員の改選はありません。また、会計は前回の会報に添付したもので総会で了解を得ましたので、今号に掲載しませんので、ご了承ください。

1 事業実績の報告

本年度は、これまでの活動を見直しつつ、今後の活動の指針を立てることにあったが、その目標は簡単な作業ではなかった。というのも、現在のサーカス学校の活動をより積極的に推し進めるためには、自分たちが自主的に行なう活動の場を確保することが、極めて難しい環境にあることを改めて認識せざるを得なかったからである。

一方で、5,6 人の少人数で、小一時間のショーを作り出すことはそれなりの成果を生み、そうした公演を何箇所でも実現できたことは、ひとつの成果といえるだろう。だが、それも依頼を受けての公演であり、自主公演にはまだ至っていない。こうした公演を積極的に売りこめるようになる必要があるが、それは今後の課題である。

カンボジア PPS のサーカス学校との連携では、東京『座 高円寺』、沖縄『キジムナーフェスタ』、新潟『大地の芸術祭』に参加することで、それなりの成果を得たが、共同で作品を作るという段階までは、まだまだ、様々な問題があるといえる。ひとつは、カンボジアの発展のスピードが速く、そのリズムにあった計画立案が困難なことがあげられる。共同で日常的な活動を行なうには、まだまだ、多くのすり合わせが必要である。

(株)アフタークラウドカンパニー主催の『東京国際フル祭』に数名の生徒が参加し、こちらは、本人たちの力量、サーカス学校の実力を示すいい機会であったが、自分たちだけの作品で、フル祭期間の一日を埋めるには、まだ至っていないことも事実であった。一日の公演を成功させるには、それなりの集客が出来なければ収支があわないからで、それなりの実力を身につけることが必要である。

2 平成 21 年度 事業計画

ひとつには、生徒数を確保しなければならない。といって、専門学校的に運営するのが目的ではないので、ムリに生徒を勧誘することはできない。やはり、サーカスの技を身につけたいと思う若者たちの来校を待たなければならないが、そうした若者に対して、最低限の PR 活動を行なおうと思う。

サハ共和国の国立サーカス公団から公演依頼が舞い込んでいる。創立 15 年の若いサーカス公団だが、演技のレベルはかなり高く、我々のサーカス学校のメンバーがかの地で公演して、観客を満足させることが出来るかは自信はない。だが、この機会を生かし、生徒

たちがより一層、練習に励むようになることを期待して、この依頼に応えるように進めるつもりである。

また、なんとか少人数の作品を作り、受身ではなく、こちらから売り込むような作品作りをしたいと考えている。たまたま、平成 22 年 3 月に、東京・両国のシアター X という劇場で、作品を作る機会を与えられたので、このなかで、サーカス学校生徒たちのショーを展開し、かれらに演劇的な勉強をしてもらい、作品作りの勉強をしてもらいたいと考えている。こうした経験を通して、日本各地で公演できるものを作りだせれば、それが生徒数の増大にも貢献することになるだろう。

9 年目前期発表会

早いもので、サーカス学校は 9 年目に入っています。今回は、田中健太、鶴貞浩、松本真理の 3 名が卒業します。ぜひ、見に来てください。

期日 2009 年 12 月 18 日 (金) 15:00 ~ 16:30
19 日 (土) 14:00 ~ 15:30
場所 沢入国際サーカス学校・体育館 (旧沢入サーカス学校・体育館)
入場料 無料 (カンパ大歓迎)

* なお、19 日公演終了後、打上げを予定していますので、参加希望の方は予めご連絡ください。

芸大修士作品に参加



東京藝術大学音楽科の修士作品作りに、松本真理と鶴貞浩の両名が参加。去る 11 月 21 日 (土) 同校の千住キャンパスで作品発表公演をおこなった。二人の演技を見て、修士の方が創作した現代音楽をベースにサーカス学校の生徒も自分たちの演技を工夫し、新しい作品を作りだした。



拙著ご紹介

『果てしなきサーカスの旅』

現代書館 2009年11月20日発売 1,900円+税

30数年前にサーカスにはまってしまったときから、今日のサーカス学校運営にいたるまでの、いささかオーバーに言えば悪戦苦闘の日々を綴ってみました。

サーカス資料館を建てたあと、サーカス学校を始めてからもすでに9年目に入り、今後の活動をどのようにしていけばいいか、そのことを明らかにするためにも、このあたりで書く必要があった気がしています。

書きあげたといって、その方向性が明確になったかといえば、まださまざまな迷いが、ぶつぶつと噴きだしています。そのあたりの悩みについても、書くことでなんとか道が拓けないかと苦闘しています。

ぜひ、書店で(といっても、大きな書店にしかないと思いますが)、お手にとってみてください。そして読んでみたいと思われましたら、ぜひ、ご購入を。



月例会報告 『スイスのウルス&ナー ज्याのショー』

大野 スイスで行われたショーに行ってきました。きっかけはウルス&ナー ज्याというスイスでは有名な、よく喋るコメディアンのような二人組のクラウンで、毎年バラエティショーを自分たちで企画してやっているんですが、彼らが日本のHilty&Bosch(ヒルティアンドボッシュ)というロックダンスの二人組を、彼らのショーに加えたいと思ったことなんです。実は、このショーにBP ZOOMが参加していて、彼らがフル祭のときに、この話を持ってきたんです。

でもHilty&Boschはホームページも持っていないし、PCもネットもやらないといういまだき珍しい若者なので、結局大阪の代理店から連絡を取って、結構時間が経ってから彼らから「詳しい話を聞かせてください」と連絡がきて、その後はとんとん拍子に進んだんですけどね。

実は、このショーにもともと入れていた演目がひとつキャンセルになったらしく、それがすごくスピード感のあるものだったそうで、主催者のふたりはスピード感があるものを求めていたんだそうです。Hilty&Boschのパフォーマンスは、すごく速いんですよ。3分くらいがやっとなっていうくらい動きまわるんです。それを2作品持ってきてほしいということで、3分と5分のものを、最初と最後にやることになりました。ショーに行く前、Hilty&Boschはネットで出演者を見て、「こんなにすごい人たちとやるんですか」と心配そうでした。彼らはこういう形態のショーも初めてだし、英語もほとんどできないし、大丈夫かなと思いましたが、最初の打ち合わせだけ通訳をつけるということで、旅立っていきました。

彼らのひとはカップラーメンをごっそり持ってきて、最終日まで食べていたとか。BP ZOOMのフィリップが「1か月近く毎朝カップラーメンを食べている

んだが、一体何個持ってきたんだ？」と不思議がっていました。(一同笑)

ベルニーが「5キロくらい痩せた」と言っていました。出演者は朝ごはんを食べて、劇場でお昼を食べ、仕込みをし、公演前の5時にもう夕飯。公演開始時間が遅くて、夜8時。そこから3時間のショーなので、終わると11時ごろになってしまうから、それから食べると太るので食べないんですって。

上島由紀 観客も仕事が終わった後に来て、観て、そんなに遅い時間に終わって、帰って、また次の日が普通に始まるの？

大野 おそらくゆっくり食事をして、劇場に来るんでしょうね。大人の時間ですよ、劇場は。

西田 でも、子どももいっぱい来てたよね。年寄りもいたし。

上島敏昭 チューリッヒは大都会ですよ。

大野 Hilty&Bosch は出演メンバーを見て、自分たちは今までダンスはやってきたけれど、芝居や演出の方はさっぱりなので、演技を要求されると応えられないと言っていたのですが、本番では上手に小芝居していました。例えば、ミュージシャンの出番のとき、Hilty&Bosch のひとりがチェロ、もう一人がギターを持って出てくるんです。そこでウルス&ナージャの二人がドイツ語で「それでは、ミュージシャンの紹介をします。ドイツから来た…」と言い、「あなたたち、ドイツ人に見えないけど、ドイツ人なの？」と聞いたところで、ひとりが「イエス」って言うんです。「わからない」という表情でニコニコしながら。そこで笑いがおきるんです。そうやっているうちに本物のミュージシャンが出てきて、本物のチェロ奏者がHilty&Bosch のひとりがチェロを持っているのをアレッという顔をして見て、「それは俺の楽器だからよこせ」と言うのですが、「えっあの…」とオドオドしているうちにチェロがポロッとばらけちゃう。そのタイミングがよくわからなくてHilty&Bosch は演出家に相当ダメ出しされたようですが、楽しんでやっていました。



各パフォーマンス内容についてですが、BP ZOOM はフル祭でもやってくれた「A Wonderful World」の部分部分を切って、間をつなげるようなクラウニングをやっていました。ドイツのアンナ・マチュア(アンナという名前と「アマチュア」をかけている)という女性歌手は、ドイツ語がわからないのが残念、というくらい面白かったです。ひねりをきかせた替え歌をしていて、歌も演奏も上手でした。三茶と上野にも来たモルガンというジャグラーも良かったです。それと、カナダのバレリーという女性はモントリオールじゃない方、ケベック市のサーカス学校出身で、空中リングとシロ(シングルラート)を、バレエを踊っているかのようにやっていました。私、あんなにキレイな演技を初めて観ました。デュオ・イロシニコフはハンドトゥハンドのウクライナの兄弟で、お兄ちゃんが下で、弟

が上。カッコイイ音楽に合わせてやっていました。

西田 弟が毬みたいなんだよ。人の上でパパッと逆立ちしたりして。

実はモルガンと話をしていたら、彼が近々日本に来るといので、「じゃあ暇があったらサーカス学校に来て下さい」と言ったところ本当に来てくれて、生徒に指導してくれたんです。彼は二十歳を過ぎてからジャグリングを始めたそうで、3つボールなんだけど、ひとつひとつのアクトがとても独創性に富んでいて、それを教えてくれました。ボールはこんなふうにも使えるんだよとか。生徒が帽子やスタッフを使っているのを見て、貸してごらん、こういうこともできるんじゃないの、と。そういう発想が、いわゆるみんなが一生懸命やろうとしているところからズレているのがすごく面白い。

ところで、Hilty&Bosch の世話をした洋子さんが行くのはわかるが、なんで僕も行くことになったかというところ…。

大野 そうそう、どうして西田が行くことになったか、説明しますね。最初、予算の関係で行くつもりは無かったです。でもベルニーから「すごく良いショーになったから、絶対に見に来なくてはいけない。西田にもそう言ってくれ」と言われたので、行くことにしたんです。3泊5日で。

西田 結局ベルニーがなんで来い来いと言ったかというところ、僕たちはフル祭をやっているから、スイスのバラエティショーはこんなふうやってるんだよ、というのを見せたかったんだと思う。事実、ずっと考えていたのは、どうして日本ではこういう仕組みのショーができないのかな、ということ。それは、第一は観客だよ。ウルス&ナージャの二人も最初からこんなにうまくいってるわけじゃないんだけど、客の年齢層がとにかく幅広い。子どもから老人までを楽しませるくらいの内容だから、彼ら自身もツアー中苦労して大変だったようなことを言っていたけれど、ステージそのものはものすごく楽しめる。そこらへんが、肩に力が入っている僕たちのフル祭と違う。けども、こういう形のバラエティショーをなんらかの形でできないかな、ということをすごく考えました。僕らが見たのはチューリッヒのフォルクスハウスという劇場で、劇場自体はそんなに立派ではなかったです。椅子も雑だし、市民会館みたいな雰囲気でしたが、キャパ1,000人が満席。チケット代は5,000円ぐらいだったかな。

上島由紀 親子連れだったら、何万円にもなっちゃいますよね。それが満席だなんてすごい。

大野 チューリッヒの物価からいって、これだけやって5,000円というのは、もしかしたら安いのもかもしれないですね。

上島敏昭 芝居だとそれくらい取れるけど、こういう形のショーだと日本では無理かもしれない。

西田 日本では芝居というものと、いわゆる僕らがやっているものと、値段のうえでも結果的に差別されてしまっているんだよね。スイスではそういうものを差別しない。もちろん、オペラの大御所が来てオペラハウスでやりますって言ったら1万円くらい取っているかもしれないけれど、普通の芝居とこういうショーとの値段は変わらないんだよ。MONTIサーカスで、3,000円くらい。ごめん、彼らのショーも3,000円くらいだ。

大野 満員なのは、ひとつにはウルス&ナージャのふたりの人気があるんです。街を歩いていても必ず声をかけられていました。TVにも出ているそうです。彼らはものすごくよくしゃべり、ものすごく受けていました。面白かったのは、Hilty&Bosch が大阪でパフォーマンスしたときの MC の音声を録音して、それを日本語で覚えて、Hilty&Bosch の出番のときに日本語で紹介していたんです。それで観客は笑うんですよ。

上島由紀 日本語をしゃべること自体が面白いんですかね。

西田 やっぱ、聞き慣れない言葉がポンポン出てくると面白いんじゃない。

大島 その二人はしゃべり中心なんですか。

西田 そう。どちらかというとお笑い芸人なんだろうね。

上島由紀 身体技じゃないんですね。

西田 しゃべりだけじゃなくて、ふたりの掛け合いや、ちょっとした仕草なんかものすごくうまかった。それだけ見ていてもそんなに飽きなかったよ。

大野 言葉がわからなくても笑えるところがあるし、「今面白いことを言ってるんだろうな」というのも何となくわかる。日本語を使った時も、スイス ドイツ語に似ているような日本語を選んでしゃべっていたようです。

西田 作り手側からみると、こういうものをつくれたらものすごく楽しいなと感じました。歌手のアンナさんは胸がすごく大きいんだけど、それをギュッと寄せたときに、その上にイロシニコフの弟の方がピョンと乗ったりする。そういうことを平気でやるんだ。

大野 自分の体形を生かしていますよね。

西田 そういところが抵抗が無くて、すごく良いんだよね。とにかく愉快なお姉さんだった。

上島由紀 ひとつひとつ、独立した芸なんですか。それらがひとつのステージに乗ることで、重なり合わせたりもするんですか。

西田 そうやって見せることもあったけど、基本的には全部独立して見せていました。そしてひとつの演目が終わった後には、毎回ウルス&ナージャのふたりが出てきて「次の芸はどんなの、こうなの」みたいな話をする。

上島敏昭 フール祭はそういう形をとったことはないですよ。司会がいて「次は〇〇です」と進行していくような。

辻 前夜祭で小出さんにやってもらったことがありましたね。

大野 あれは、本当に司会だったけど。ウルス&ナージャは進行をするのと同時に、自分たちの芸もやっているんです。

上島敏昭 昔の松竹演芸場は、司会って言いながらそういう面もありましたね。漫談とかをやりながら司会をやっていた。大神楽は洒落てましたよ。衣装は洋服を着て、普段なら茶碗を重ねるところをグラスを使ったり。

西田 その流れは消えちゃったね。

上島敏昭 だから松竹演芸場がなくなっちゃったおかげで何も無くなってしまったんじゃないかな。ひとつひとつの芸が短いから、司会を入れてどうのこうの、ではないと思います。

西田 彼らのショーは、いわゆる日本でいうバラエティショーとメンバー構成が違う

よね。ダンスがあって、ジャズがあって。

大野 男性のウルスの友達でダンスに詳しい人が、実はロンドンで Hilty&Bosch のダンスを生で見ている「すごく良かったよ」と言っていたそうです。彼らは小学校からの幼馴染だそうで、息が合ってます。礼儀正しくて、すごくまじめな青年です。ダンスの世界は縦社会だそうですね。

上島敏昭 歩き方だけで先生が誰か、わかるらしいですね。

大野 彼らは練習量もすごくて、本番が終わった後、夜中に、練習場所なんかないから、街灯下のショーウィンドウ前でずっとやっていました。

西田 0.何秒の世界で合わせてやってるんだよ。

大野 何が起きてるのかよくわからないくらい速いんですね。

上島由紀 何を着て踊るんですか。

大野 グレーのスーツを今回のために新調していました。

上島由紀 彼らだけで1時間のステージをすることとかはないんですか。

西田 それは無理だろうね。

大野 ドイツのフライブルグというところで、毎年芸術見本市が開催されているのですが、その人が観に来ていて、今回のこのショーに出ていた全員を招待してくれたんですよ。BP とモルガンとブースをシェアすることになり、私も来年の1月末に行ってきます。

上島由紀 彼らはどんな音楽を使うんですか？ やかましいんですか。

大野 やかましい印象はありませんでしたが、表現しづらいので、You-tube で見てみてください。

西田 出演者たちの使っている音楽はみんな上等だった。すごくセンスが良かった。それと、僕たちの滞在中に MONTI サーカスが公演していたので見てきました。芸は良かったのですが、お話がつまらない。ホテルの従業員たちと客とのドタバタが、ただのドタバタでしかない。

でも MONTI はできてから 25 年、成功しているんだと思う。ただ、豊かではない。MONTI のお母さんがもぎりしているのを見ていて、昔、自分が関根にいたころ、山根サーカスの団長と奥さんが手伝いに来てくれたときに、奥さんが座布団をやっているのを思い出したよ。ああ、これがサーカスだって。

大野 「サーカス」という雰囲気はすごくありましたよね。トラクターとか重機類がすごかった。

出席者：大島幹雄、大須賀哉子、大野洋子、上島敏昭、上島由紀、辻卓也、西田敬一（敬称略 長屋歩未 記）

各サーカス団による

木下大サーカス

京都公演 2009年12月19日(土)～2010年3月1日(月)

休演日 1月20日(水)、2月3日(水)、2月10日(水)、2月17日(水)と毎週木曜日。

但し2月11日(木)は開演。

会場；伏見桃山城運動公演 特設会場

電話；075-371-0117

<p>キグレ New サーカス 宇都宮公演 2010年1月1日(金・祝)～2010年2月28日(日) 休演日；毎週火曜日 会場；東北自動車道宇都宮インター西側 ろまんちっく村内特設会場 電話；028-666-3771</p>	
<p>ポップサーカス 徳島公演 2009年12月26日(土)～2010年2月14日(日) 休演日 12月30、31日、1月7、14、21、28、2月4、10、12月26日(土)及び1月1日(日) は13:00、15:40の2回公演。 会場；徳島空港北サンスター特設大テント会場 電話；12月20日まで 088-611-0120 12月21日から 088-699-0181</p>	
<p>シルク・ドゥ・ソレイユ「CORTEO コルテオ」 東京最終公演 2009年11月4日(水)～2009年12月20日(日) 東京最終追加公演 2009年12月21日(月)～2010年1月24日(日) 会場；原宿・新ビッグトップ 国立代々木競技場オリンピックプラザ 電話；インフォメーションデスク 03-5237-7120</p>	
<p>『昼下がりの冗事』 ・Vol.5 2009年12月20日(日)正午開演 会場；渋谷0-nest(1階コンビニ ampm の左側からエレベーターで6階へ) 電話；03-3403-0561 (ACC)</p>	<p>ちきゅうばこ～空色いぬくんと虹色カエルちゃんのへんてこ大冒険～ 2009年12月23日(水・祝)、25日(金)、26日(土)、27日(日) 会場；座・高円寺1 電話；ACC 03-3403-0561 座・高円寺1 03-3223-7500</p>
<p>東京ドームニクーリンサーカス 2010年1月9日(土)～2月14日(日) 休演日；毎週月曜日と1月12日(火) 会場；東京ドームシティ JCB ホール 電話；03-5800-9999</p>	<p>パントマイム シルヴプレ第6回公演『春までヴァーグ』 2010年1月9日(土)、10日(日) 会場；中野Live Space plan-B 電話；ACC 03-3403-0561</p>
<p>山本光洋ソロライブ“かかしになるために” ・第1回 2010年1月29日(金)、30日(土) ・第2回 2010年3月12日(金)、13日(土) 会場；中野Live Space plan-B 電話；山本光洋 Office 03-3951-1999</p>	<p>バーバラ村田朋未『よるべない女たち』 2010年2月10日(水)、11日(木) 会場；シアターX(カイ) 電話；ACC 03-3403-0561</p>